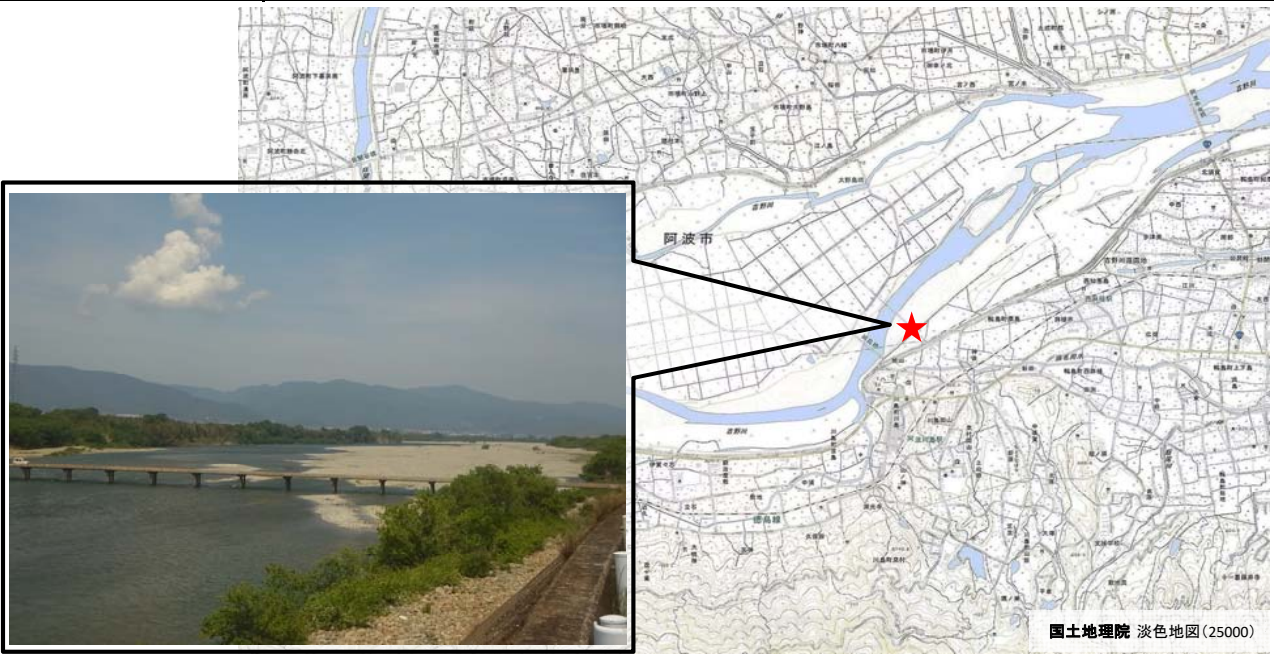


「点検箇所の紹介シート」

地方整備局名	四国地方整備局	事務所名	徳島河川国道事務所
水系名	吉野川水系	河川名	吉野川
箇所名	<b>善入寺島周辺の水辺</b>	所在地	阿波市郷社前他 吉野川市川島町
施設管理者	-	面積	-
区間延長	1.0km	KP・左右岸	河口より28km付近・右岸
主なアクセス方法	JR徳島線阿波川島駅から徒歩10分、川島神社前バス停から徒歩5分		



・主な利用

サイクリング、散策、釣り、水生生物調査など  
善入寺島は日本最大の川の中の無人島であり、四国のみずべ八十八カ所にも選定されている。また、善入寺島に架かる計6つの橋はすべて潜水橋である。

・管理の状況

地域団体などがアドプト制度などにより、清掃活動を行っている。  
堤防は国土交通省が年2回除草を行っている。



※国土地理院撮影の空中写真（2016年撮影）を掲載

凡例   点検範囲  散策路  車両進入路 ● 駅・バス停

・善入寺島周辺の水辺の状況



明治40年頃の善入寺島

「吉野川今昔」より

善入寺島は、吉野川の洪水でできた大きな中州状の島です。  
大正時代の吉野川改修工事までは約3000人が住み、農業をしていました。  
現在は阿波市、川島町の農家の方が水稻を中心に、大根、スイカなどを耕作しています。



昭和初期の善入寺島

「吉野川今昔」より



川島潜水橋

1963年に完成した川島潜水橋は、その名の通り、出水時には川の中に潜り、沈む。夏場は南岸から渡る際、ほぼ正面に夕陽が沈む名所としても知られている。



ボランティア活動

吉野川アドプトプログラムにのっとり、地域団体により潜水橋付近の堤防のゴミ拾いを四半期に1回実施している。



水生生物調査

学島橋下流にて、川に親しみを持ち、川のことを知ってもらうために「水生生物による簡易水質調査」を、国土交通省徳島河川国道事務所主催で行っている。



水遊び

ゆったりと流れる善入寺島周辺の水辺では、カヤックや釣りなど、それぞれに水遊びを楽しむ姿が伺える。